

## 外来医療計画の策定について

### 1 趣 旨

- ・ 地域ごとの外来医療機能の偏在等の情報（外来医師偏在指標等）を、新たに開業しようとしている医療関係者等に可視化して提供するとともに、地域における協議の場において新規開業希望者への働きかけを行うことで、個々の医師の行動変容を促し、偏在是正につなげる。
- ・ 地域ごとの医療機器の配置状況等に関する情報を可視化（医療機器の配置状況に関する指標等）して新規購入希望者に提供するとともに、地域において医療機器の共同利用に関する協議を行うことで、医療機器の効率的な活用につなげる。

### 2 計画期間

- ・ 令和元(2019)年度中に医療計画の一部として外来医療計画を策定  
(策定スケジュールについては資料3-5参照)  
⇒ 令和2(2020)年度からの4年間が最初の計画期間
- ・ 令和6(2024)年度以降は、3年ごとに見直しを行う

### 3 外来医療計画の構成（素案）

#### (1) 外来医療

計画策定の背景・目的

##### ア 現状

- (ア) 外来医師偏在指標の状況（全ての二次医療圏）
- (イ) 県内の外来医師多数区域（神戸、阪神、淡路）

##### イ 課題

各二次医療圏において不足している外来医療機能（各二次医療圏における検討結果を記載）

##### ウ 推進方策

- (ア) 協議の場の設置（全ての二次医療圏）
- (イ) 新規開業希望者との合意形成（届出時の意向確認、協議の場での意見聴取等）
- (ウ) その他の取組（例：金融機関等への情報提供）

#### (2) 医療機器の共同利用

計画策定の背景・目的

##### ア 現状

県内の医療機器の配置状況・保有状況（医療機器の配置状況に関する指標）

##### イ 課題

（計画策定の背景、各二次医療圏での検討において指摘された課題等）

##### ウ 推進方策

- (ア) 協議の場の設置（全ての二次医療圏）
- (イ) 共同利用の方針の策定（各二次医療圏における検討結果を記載）